

H26 バスターズ通信 Vol.5



平成26年6月15日 (日)

バスターズ19名がご参加下さいました。前の週に降った雨の影響で、沼の水位が20cmほど高くなっていました。人工産卵床では、バス・ギルの産卵はありませんでした。例年ならブルーギルの産卵が始まる時期ですが、今年はまだギルの産卵がありません。アイカゴでもブルーギルは全く獲れず、岸に集まっていないようです。稚魚すくいでは、バス稚魚の群れが3群れ獲れました。定置網では、今年生まれのモツゴやタモロコが数百匹入っていました。定置網や稚魚すくいでも毎週観察していると、在来魚類の稚魚が成長していく様子がよくわかります。



バス稚魚すくいの様子。ショウブ群落に隠れていました。



稚魚すくいでもったバス稚魚。全長15mmくらいでした。全長20mmくらいになると、体側の黒い線が点状になり、在来魚類の稚魚を食べ始めます。



早く生まれた稚魚(下)と遅く生まれた稚魚(上)では、倍以上の体長差があります。



←定置網で獲れた在来魚類。コイ科の稚魚がたくさん入りました。



←人工産卵床に付いたオオマリコケムシ。人工産卵床は、バスだけでなくヌマチチブやモツゴの産卵場になったり、ヒメタニシなどの生き物の隠れ場にもなっています。

次回のバスターズは、6月22日(日)に行ないます。
みなさまのご参加お待ちしております！